



平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東名

上場会社名 KeePer技研株式会社

コード番号 6036 URL <http://www.keepercoating.jp/corp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷 好通

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事業サポート本部長
兼財務部長

(氏名) 永田 裕一

TEL 0562-45-5258

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	1,735	8.1	245	11.3	247	11.3	155	12.2
28年6月期第1四半期	1,605	16.0	220	10.8	222	12.6	139	10.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	21.35	21.24
28年6月期第1四半期	21.00	19.99

(注) 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	5,255		3,424		65.2	
28年6月期	5,222		3,712		71.1	

(参考) 自己資本 29年6月期第1四半期 3,424百万円 28年6月期 3,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	3.00	—	9.00	12.00
29年6月期	—				
29年6月期(予想)		0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 28年6月期第2四半期末配当金の内訳 記念配当 3円00銭

3. 平成29年6月期の業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,900	9.1	640	△1.6	640	△1.7	390	△6.8	53.35
通期	7,200	9.3	900	10.3	900	10.6	550	4.0	75.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期1Q	7,311,500 株	28年6月期	7,309,900 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年6月期1Q	278,090 株	28年6月期	90 株
----------	-----------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期1Q	7,307,887 株	28年6月期1Q	6,622,108 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日）におけるわが国の経済は、政府主導の経済対策や日本銀行の金融緩和政策により、緩やかな回復基調で推移しているものの、資源価格の下落による新興国経済の減速や中国の成長率鈍化など不透明な状況が続きました。

当社ではこのような環境の中、ユーザーに提供されるキーパーコーティングの品質の維持・向上を従来以上に実現していくことが、当面の業績を向上させるだけでなく、将来に向けての発展を目指したKeePerブランドのブランディングを確実にしていくために最も重要であると考えております。

キーパー製品等関連事業におきましては、全国のキーパープロショップを対象にした「キーパー選手権」を平成28年8月に開催しました。また、同月にはキーパープロショップの施工環境や資格取得状況について「キーパープロショップ全店訪問チェック」を実施するなど、技術水準の維持・向上に向けた取り組みを行ってまいりました。

また、キーパーLABO運営事業においては、平成28年8月に東京都に「三鷹店」を新規開店し、直営43店舗の体制となりました。平成28年12月末までに、新規開店7店舗と刈谷店の全面改装を予定しており、今後さらに新規出店を加速してまいります。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は17億35百万円（前年同期比8.1%増加）営業利益は2億45百万円（同11.3%増加）経常利益は2億47百万円（同11.3%増加）退職給付費用の計算方法の変更により、特別損失が発生しておりますが、四半期純利益は1億55百万円（同12.2%増加）となりました。

①キーパー製品等関連事業

当事業における最も大きなシェアを占めている石油販売業界は、地球温暖化問題に因を發した化石燃料の消費削減の大きな動きによって石油製品の販売量低下は着実に進んでおります。そのあおりを受けて、ガソリンスタンドの経営は石油製品以外の収益（俗に油外収益）を強化する必要が、ますます増大しております。その油外収益の最も現実的で効果的な商品としてKeePer商品がますます注目され、期待されております。

そのような環境の中、キーパーコーティングの技術水準の維持・向上に向けキーパープロショップやKeePer施工店の「現地」で行う「上達会」、コーティング技術一級資格者在籍の確認、施工環境の点検と確認を行う「キーパープロショップ全店訪問」などの活動を行いました。また、平成28年8月には「キーパー選手権」を開催し、キーパープロショップ全店5,070店舗の約6割に当たる3,200店舗以上の参加があり、しかも1店舗当たりのキーパーコーティング施工台数によるポイントがかなり上がってきており、各店舗でのKeePerによる成功の度合いが上がっている事が窺えました。

その結果、主要製品のひとつであるダイヤモンドキーパーケミカルとレジン2の出荷本数が、前年同期比19.0%の伸びとなりました。そして、この事業の拡大の一つの指標である技術認定店「キーパープロショップ」は、当第1四半期末で5,070店舗（前年同期比+424店）に増加しております。

しかし、この第1四半期累計期間においては、8月後半に東日本において台風が多く、9月においては歴史的な日照時間不足が生じたことなど天候不順であり、キーパー製品等関連事業においてもその影響を大きく受けております。

これらの結果、当セグメントの当第1四半期累計期間における売上高は11億60百万円（前年同期比7.7%増加）、セグメント利益は1億98百万円（同1.2%減少）となりました。ただし、内部取引による利益が30百万円含まれており、内部取引控除後の利益は1億68百万円（同3.2%増加）となります。

②キーパーLABO運営事業

当第1四半期累計期間は例年に比べて天候の影響を大きく受けました。8月後半の東日本で毎週のように台風が上陸したこと、また9月は全国的に天候が不順で日照時間が昨年の約6割程度と厳しい状況であり、全体としては洗車やコーティングのマイナスイメージは上がらず、来店客数も伸び悩みました。

そのような状況の中、引き続き主力のコーティング商品は伸び、一番高価格である3年もしくは5年耐久のダイヤモンドキーパーの施工台数は、新車への施工も大幅に増え、前年同期比で18.3%増、クリスタルキーパーも同3.6%増と確実に伸びております。これは、天候の影響を受けながらも、よりコーティングの特性が強い商品が踏ん張った結果と考えております。

キーパーLABOの新規開店については、8月に東京都三鷹市に三鷹店を開店しました。6月に千葉市緑区に開店し

たちば古市場店とともに、極めて順調に立ち上がってきております。今後年内に水戸、鈴鹿玉垣、福井、交野、尼崎、福山、西熊本の7店舗の新規開店を、また刈谷店の全面改装を予定しております。

これらの結果、当セグメントの当第1四半期累計期間における売上高は5億75百万円（前年同期比8.8%増加）、セグメント利益は77百万円（同34.3%増加）となりました。ただし、内部取引による費用が30百万円含まれております。

（2）財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ32百万円増加し、52億55百万円となりました。これは主として、商品が52百万円増加、売掛金が80百万円減少、建設協力金が37百万円増加したこと等によるものです。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ3億20百万円増加し、18億30百万円となりました。これは主として、買掛金が64百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が1億85百万円増加、長期借入金が1億29百万円増加したこと等によるものです。借入金の増加は後述の自己株式の取得のため金融機関からの資金調達を実施したことによるものであり、新株式発行により調達した資金は計画通り新規店舗等の設備投資に充当してまいります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ2億87百万円減少し、34億24百万円となりました。これは主として利益剰余金が90百万円増加し、退任した取締役が保有していた当社株式の大部分を買い取りしたことにより自己株式が3億78百万円増加したこと等によるものです。なお、この自己株式については平成28年10月11日に株主還元の実現を図るため、全額消却を実施しております。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期通期の業績予想につきましては、平成28年8月10日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

(退職給付債務の計算方法に係る見積りの変更)

当社は、当第1四半期会計期間より、退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更しております。この変更は、従業員数が増加したことに伴い、退職給付債務の金額の算定の精度を高め、退職給付費用の期間損益計算をより適正化するために行ったものであります。

この変更に伴い、期首における退職給付引当金が12,783千円増加し、同額を特別損失として計上しております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,695,654	1,684,665
受取手形	154,949	176,736
売掛金	580,357	499,857
商品	415,695	467,826
貯蔵品	26,415	26,650
前渡金	—	3,612
前払費用	109,703	74,628
繰延税金資産	23,712	30,369
その他	13,380	4,545
貸倒引当金	△823	△476
流動資産合計	3,019,046	2,968,414
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,052,840	1,056,901
構築物（純額）	91,788	88,775
機械及び装置（純額）	83,406	80,370
車両運搬具（純額）	32,381	37,187
工具、器具及び備品（純額）	69,715	69,763
土地	459,729	459,729
建設仮勘定	405	12,135
有形固定資産合計	1,790,268	1,804,862
無形固定資産		
のれん	1,951	1,626
ソフトウェア	25,291	23,420
その他	25,037	43,580
無形固定資産合計	52,280	68,627
投資その他の資産		
投資有価証券	15,440	15,880
長期前払費用	16,299	20,243
敷金及び保証金	146,102	169,858
建設協力金	42,866	80,755
保険積立金	13,907	13,907
繰延税金資産	105,992	112,650
その他	20,030	30
投資その他の資産合計	360,638	413,325
固定資産合計	2,203,186	2,286,814
資産合計	5,222,232	5,255,229

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	155,755	220,027
1年内返済予定の長期借入金	180,096	365,744
未払金	143,627	135,939
未払法人税等	197,040	103,864
未払費用	85,168	78,452
賞与引当金	16,691	66,766
その他	48,598	25,794
流動負債合計	826,978	996,589
固定負債		
長期借入金	295,916	424,965
退職給付引当金	124,873	143,188
役員退職慰労引当金	213,335	216,943
資産除去債務	45,075	45,200
その他	4,043	4,043
固定負債合計	683,244	834,340
負債合計	1,510,222	1,830,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,344,189	1,344,328
資本剰余金	1,007,224	1,007,224
利益剰余金	1,360,363	1,450,566
自己株式	△144	△378,502
株主資本合計	3,711,633	3,423,616
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	376	682
評価・換算差額等合計	376	682
純資産合計	3,712,009	3,424,299
負債純資産合計	5,222,232	5,255,229

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,605,702	1,735,655
売上原価	497,400	539,710
売上総利益	1,108,301	1,195,944
販売費及び一般管理費	887,511	950,098
営業利益	220,789	245,845
営業外収益		
受取利息	267	140
受取配当金	500	—
為替差益	2,541	2,018
受取手数料	456	434
その他	770	795
営業外収益合計	4,536	3,388
営業外費用		
支払利息	1,833	1,446
デリバティブ評価損	934	—
その他	—	13
営業外費用合計	2,768	1,459
経常利益	222,557	247,775
特別利益		
固定資産売却益	1,202	69
特別利益合計	1,202	69
特別損失		
固定資産除売却損	1,704	0
退職給付費用	—	12,783
特別損失合計	1,704	12,783
税引前四半期純利益	222,055	235,061
法人税、住民税及び事業税	87,865	92,519
法人税等調整額	△4,869	△13,448
法人税等合計	82,996	79,070
四半期純利益	139,059	155,990

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年9月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式278,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期累計期間において自己株式が378,358千円増加し、当第1四半期会計期間末において自己株式が378,502千円となっております。

(セグメント情報等)

前第 1 四半期累計期間 (自 平成27年 7 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	キーパー製品等関連事業	キーパーLABO運営事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,077,201	528,500	1,605,702
セグメント間の内部 売上高又は振替高	63,215	—	63,215
計	1,140,417	528,500	1,668,917
セグメント利益	200,871	57,738	258,609

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	258,609
セグメント間取引消去	△37,820
四半期損益計算書の営業利益	220,789

(注) セグメント間の内部売上高63,215千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。キーパー製品等関連事業のセグメント利益200,871千円には、セグメント間の内部売上高による利益37,820千円を含んでおります。

当第 1 平成28年 7 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	キーパー製品等関連事業	キーパーLABO運営事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,160,624	575,030	1,735,655
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50,339	—	50,339
計	1,210,964	575,030	1,785,994
セグメント利益	198,464	77,513	275,978

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	275,978
セグメント間取引消去	△30,132
四半期損益計算書の営業利益	245,845

(注) セグメント間の内部売上高50,339千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。キーパー製品等関連事業のセグメント利益198,464千円には、セグメント間の内部売上高による利益30,132千円を含んでおります。

(重要な後発事象)

当社は、平成28年10月6日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、次のとおり実施いたしました。

- | | |
|----------------|--|
| 1. 消却した株式の種類 | 当社普通株式 |
| 2. 消却した株式の数 | 278,090株
(消却前の発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 3.95%) |
| 3. 消却実施日 | 平成28年10月11日 |
| 4. 消却後の発行済株式総数 | 7,033,410株 |